

研究課題名 AI 等の利活用を見据えた病理組織デジタル画像(P-WSI)の収集基盤整備と病理支援システム開発

研究責任者名 広島大学病院病理診断科 教授 有廣 光司

研究期間 平成 29 年 5 月(倫理委員会承認後) ～ 2023 年 3 月 31 日

#### 対象者

- ① 平成 28 年 1 月から同年 12 月の間に、広島大学病院病理診断科で病理組織デジタル画像データを作成した患者さんのうち 1700 名。
- ② 平成 19 年 1 月～平成 28 年 12 月の間に日本病理学会中国四国支部学術集会に提出された 17 名。
- ③ 平成 29 年 1 月から同年 12 月の間に、広島大学病院病理診断科で病理組織デジタル画像データを作成した患者さんのうち 340 名。

#### 意義・目的

人工知能 Artificial Intelligence (AI) の利活用の一環として P-WSI (バーチャルスキャナーという特殊装置で取り込んだ病理デジタル画像) のビッグデータを収集・集約し、これを活用して病理医人材育成のための病理診断精度管理ツールを開発します。同時にアーカイブ化事業により AI 利活用のための「P-WSI 正解ビッグデータ」を作製し、深層学習を活用した病理診断支援ツールの開発を行います。

#### 方法

本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。  
カルテから使用する内容は年齢、性別、臨床診断、病理診断、病理所見です。  
(個人を特定可能な情報は解析に用いません)

#### 共同研究機関

日本病理学会	東京大学	秋田大学
京都大学	国立情報学研究所	名古屋大学
滋賀県立成人病センター	筑波大学	奈良県立医大
千葉大学	徳島大学	産業医科大
金沢大学	信州大学	慶応義塾大学
九州大学	金沢医科大学	長崎大学
浜松医科大学	宮崎大学	青森県立中央病院
大阪府立成人病センター	富山市民病院	熊本医療センター
国立がん研究センター中央病院	名古屋医療センター	大阪警察病院

AI を設置している東京大学と慶応義塾大学に情報を集め(研究責任者: 深山正久) 解析します。

#### 試料・情報の管理責任者

日本病理学会 理事長 深山 正久

#### 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5590

広島大学病院病理診断科 教授 有廣 光司